

令和2年度 第二回学校運営協議会 議事録

日時・場所：令和2年12月11日（金） 午前10時30分～11時10分（公開授業見学）
午前11時30分～13時00分（布施北高校 会議室）

出席者：高田 克己様（会長・司会）・菊地 栄治様・塚本 佳秀様・片山 晴江様・校長・教頭（2名）
事務長・首席（2名）、安川 昭雄（オブザーバー参加）

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 事務局より：学校運営協議会実施要項（改定）、デュアル実習の手引き、学校の見える化について
- 4 本校の現状と課題：コロナ感染拡大予防、授業力の向上、観点別評価について
- 5 協議・意見交換：テーマ「コロナによる新しい生活様式で生徒につける新たな力と教員の授業力」

○授業力について（公開授業を見て）

- ・映像など活用して、丁寧に教えられている。生徒たちは、集中して意欲的に先生の話聞いていた。
- ・特に「キャリア基礎」の授業は、ブラックアルバイトをテーマに、話し合いを通じて、生徒たちの考えや思いを引き出す形式で、生徒の身につく素晴らしい授業であった。

○新型コロナにかかる現状と工夫

- ・大きな課題を突き付けられている。右往左往して、絶望的な方向にいかないで、できることにベストを尽くしてやっていく。そして、コロナ後に何ができるかを考えるべきである。助け合い、関わりあうのが人間本来の姿。
- ・コロナ対策をしっかりとしながら、学力向上に取り組んでほしい。
- ・今年度は、行事や行事準備は中止や縮小実施、PTA活動も縮小した。省くことだけが正解ではないと思うので、工夫して実施してほしい。

○その他

「デュアル実習の手引き」について、

- ・評価シートがなくなったが、学校と企業が共に生徒を育てていくためにも、是非再考してほしい。
- ・（学校より）実習先によっては評価が負担。また、評価の差が課題。指導の観点を示す事を検討中。

6 その他

○デュアルシステム意見交換会（12月23日）について（連絡）

○デュアルシステムの持続的発展を支える布施北高校地域学校協働本部設立について（委員より提案）

- ・学校運営協議会は公的なものであって非常に重要だが、回数や人員に制約がある。布施北も生き残りが必要。学校運営協議会と連携しながら、デュアルシステムに特化した部分で地域との連携を進める組織が必要と考える。
- ・大切なのは学校や生徒にとって負にならない事。地域と企業の方々が学校に協力してくれるように動く母体になるのであればと思う。
- ・（学校より）デュアルシステムは3本柱の1つ。エンパワメントスクールとしての取り組みも重要。教員側の意見も聞いてほしい。
- ・学校の教育方針については立ち入らない。学校を地域とともに支えていくというもの。地域と学校が助け合い、繋がりあいながら、やっていくことが大事。
- ・布施北高校地域学校協働本部設立準備会の立ち上げについて、承認した。